

警察署協議会会議録

八女警察署協議会

開催年月日時	令和4年3月16日 午後4時30分 から 令和4年3月16日 午後5時30分 まで	
開催場所	八女警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
出席者	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長代理、交通課長、警備課長、事務局
議事概要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>最近気温が暖かくなってきているが、防災無線を聞いていると火事が頻繁に発生している。消防団や消防署の啓蒙活動により、皆様注意されていると思うが、警察の方々にも住民の方々に対して注意喚起をしてもらいたい。</p> <p>今回、協議会を開催するにあたり、八女警察署から事前に質問・要望についての文書が送付され、委員の皆様も日頃考えている思いを質問・要望していると思うので、本日はどうぞよろしくお願いする。</p> <p>【八女警察署長挨拶（要旨）】</p> <p>会長を始め委員の皆様には、日々警察活動に対する深い御理解と支援を賜り、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>昨年11月、八女警察署管内で高齢の方が特殊詐欺の被害に遭われたが、署員一同何とも堪らない気持ちとなり、防犯活動、事件検挙等を引き続き推進していかなければいけないと改めて強く思ったところである。</p> <p>また、八女警察署に庁舎見学等のため訪れた子供達の笑顔を見て、子供達を守っていないといけないと改めて感じた。</p>		

議 事 概 要

警察の業務は、多岐に亘っているが、第一は住民の安全・安心であり、皆様から御意見・御要望をいただき、八女署の力を向上させていきたいと考えている。

本日はどうぞよろしく願います。

【幹部転入挨拶】

【令和3年中の八女警察署管内の治安概況】～総務課長

- 1 刑法犯認知・検挙件数及び110番通報件数の推移
- 2 校区別の刑法犯認知件数
- 3 人身事故発生状況等の推移

【質疑・応答】

1 委員から事前調査した質問事項及び応答

- 委員から「新型コロナウイルス感染症が流行し、現在「第6波」の真っ只中であるが、日頃の警察活動でのコロナ対策はどうか。また、第1波に比べ対策に変更はあったか。」旨の質疑があり、総務課長から「新型コロナウイルス対策として、来庁者に対し、消毒検温を要請しているほか、勤務場所を分散するなどして感染リスクの軽減を図っている。第1波と感染防止対策に変更は特になく、引き続き感染防止に配慮した警察活動を実施していく。」旨を回答した。
- 委員から「新型コロナウイルス感染症による自粛ストレス、収入減、失業等による治安悪化が原因と思われる事案はあるか。また、治安悪化の兆候はあるか。」旨の質疑があり、総務課長から「過去5年間の八女警察署での110通報件数、刑法犯認知件数、人身事故等の発生状況を見る限り、年々減少基調にあり、現在のところ新型コロナウイルス感染症に起因する治安悪化の兆候は確認できない。」旨を回答した。
- 委員から「八女市内で少年による兄への切り付け事件が発生したが、青少年犯罪を未然に防ぐにはどうすればよいか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「警察では現在、様々な問題を抱える少年の早期把握のため、教育委員会や学校等と連携を図っており、今後も一層、関係機関と連携を強化していく。青少年犯罪を未然に防ぐためには、関係機関との連携に加え、家族を巻き込んだ対策が重要であり、問題を抱えた少年を把握した場合は、対策を徹底する。」旨を回答した。

- 委員から「八女市役所においても、消費者トラブルに関する相談が増加しているが、消費者トラブルに対する警察と行政の連携を図るような取組は可能か。」旨の質疑があり、生活安全課長から「消費者トラブルに関する事案については、被害拡大防止のためにも警察と行政の連携が必要不可欠である。現在、消費者トラブルの事案を認知した場合、県警本部が県の消費者センターと連携を図り、捜査などの警察活動に活用している。」旨を回答した。
- 委員から「以前は町内放送で高齢者の徘徊に関する放送があっていたが、現在はどうか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「高齢者の行方不明に関し、八女市や広川町と連携を図っている SOS ネットワークがあり、同ネットワークは、事前登録することにより、登録者が行方不明になった場合に防災無線等で行方不明者情報を放送するものである。八女市は、防災無線やメール、広川町はこれらに加え町内放送を行っており、同ネットワークは、行方不明者の情報を広く知らせる有効な手段として今後も積極的な活用を考えている。」旨を回答した。
- 委員から「八女地区の小中学校が校内暴力等で荒れているという話を聞いたが現状はどうか。」旨の質疑があり、生活安全課長から「先生の指示に従わない生徒や授業に参加しない生徒がいるとの情報は把握している。学校と連携を図り、警察で問題生徒との面接や親に対する指導等を行っており、刑罰法令に触れる行為があれば事件化も行っている。対応する際は、生徒と先生の関係性に配慮しつつ、学校や教育委員会、児童相談所等と連携して慎重に対応するようにしている。」旨を回答した。
- 委員から「黒木町本田三叉路（国道442号）の点滅信号が無くなっているがその理由は。」旨の質疑があり、交通課長から「質問にあった交差点については、過去3年間交通事故の発生がなく、交差点の見通しも良いことから、行政区長と協議し、地元の同意を得て一時停止の規制に変更している。」旨を回答した。
- 委員から「八女市役所南側の交差点をスクランブル化して欲しいと要望を出しているが実現しない。要望が通らない理由を教えて欲しい。」旨の質疑があり、交通課長から「スクランブル交差点の対象となる道路は、繁華街、駅やバスターミナル周辺に位置し、斜め方向への歩行者が多い交差点等であり、現在の基準では、要望箇所を早期にスクランブル交差点とするのは難しい。」旨を回答した。
- 委員から「先日、サイレンを鳴らしたパトカーが数台通り過ぎていくことがあ

り、普段静かな自治体である分、何かあった場合に目立ち、変に噂が広まることは良くないと考えるが、地域の方と可能な範囲での情報共有など、何か良い方法はないか。」旨の質疑があり、地域課長から「事件事故の発生や犯人の検挙など、具体的事案に関して広く一般市民に情報提供する場合は、一定の報道基準に基づき報道すべきか等個別具体的に判断しており、判断に当たっては、事案の重大性や社会的な関心度、被害拡大の見立て、被害者や被疑者への人権の配慮、その後の捜査への支障など多岐にわたって検討している。八女署としては、地域の皆様への注意を喚起する一方で、安心感を持っていただけるよう、積極的かつ適切な情報提供ができないか今後も検討をしていく。広く一般の方々に周知していただきたい内容については、県警ホームページ、交番・駐在所だより等により広報しているので、活用をしてほしい。」旨を回答した。

- 委員から「ボディカメラは、警察業務の正当性を証明する手立てとして、防犯カメラ・ドライブレコーダに次ぐ有効な手段であると思うが導入の検討はなされているか。また装備品とするには法整備が必要であるのか。」旨の質疑があり、地域課長から「県警本部に確認したところ、現在のところボディカメラの導入予定はなく、必要性は低いとのことである。また導入に際しては、特に法整備の必要はない。」旨を回答した。
- 委員から「派遣技能実修生がブローカーと連絡を取り、逃亡する事例を耳にすることがあり、裏で暴力団等が絡んでいるとも聞く。八女地区でも多数の派遣研修生が稼働中と思うが、その情報は警察で管理しているのか。」旨の質疑があり、警備課長から「八女署管内では、技能実習生等が所在不明になる事案が発生している。所在不明の原因については様々であるが、ブローカーの存在や犯罪組織の介在も疑われる。八女警察署は、外国人を雇用する企業や受入れ団体と連携し「八女地区国際化対策連絡協議会（20団体）」を設置しており、外国人の安全と地域住民との良好な関係構築を目指し、情報交換や啓発活動を行い、事件事故等の取扱いを通じて実態把握に努めている。」旨を回答した。
- 委員から「自動車盗、重機盗などの被害品の海外搬出の中継地と言われるヤードの場所は調べているか。」旨の質疑があり、刑事課長代理から「ヤードは自動車盗などの拠点となっている場所もあり、警察では常に目を光らせている。また、ヤードには外国人が出入りする場合もあり、外国人の稼働実態などについて積極

的に情報収集を行っている。」旨を回答した。

以上の報告に対して質疑等はなかった。

2 会議当日の質問及び応答

- 委員から「スクランブル交差点についての話があったが、歩車分離信号では斜め横断してはいけないのか。」旨の質疑があり、交通課長から「横断歩道が斜めにない場所は、斜め横断することなく、横断歩道に従ってもらう必要がある。」旨を回答した。
- 委員から「広川野球場から藤山線に向かう直線道路上に押しボタン式の信号横断歩道があるが、歩行者信号が青であるのに、信号無視をする車両がいて通学する小学生などが怖い思いをしていると聞いた。4月から新1年生の通学も始まることから、登下校時間帯のパトロールの強化をお願いしたい。」旨の申し出があり、交通課長から「小学生等の歩行者に対して事故防止を図るため、横断方法などに関する安全教育を推進していく。また、信号無視については、同所を確認した上、地域課、交通課で連携を図り検挙措置等を講じていく。」旨を回答した。
- 委員から「朝に広川町役場付近の横断歩道付近で交通課の白バイが警戒しているので抑止効果が出ていると思う。別の箇所でも実施をしていただきたい。」旨の要望があった。

【総括】

副会長から「署長を始め幹部の方々から安心・安全への熱い思いを聞き、一市民として心強く感じた。今回の協議会は、事前に質問・要望について質問書を作成し、回答を送付するという新しい取組であったが、質問の内容も多岐に亘り、各委員が意見を出しやすい良い取組であると感じた。各質問に対し、真摯に分かりやすく回答をしていただき、委員もよく理解できたと思う。引き続き八女地区の安心・安全のため御尽力をお願いします。」旨を総括し、会議を終了した。

【閉会】

以上で、令和3年度第4回八女警察署協議会を閉会する。